



# バルバドス

Barbados

2007年10月現在



## 一般事情

- 1.面積 431平方キロメートル(横浜市とほぼ同じ)
- 2.人口 27.2万人(2005年 世銀)
- 3.首都 ブリッジタウン
- 4.民族 アフリカ系90%、混血6%、ヨーロッパ系4%
- 5.言語 英語
- 6.宗教 英国国教会、カトリック
- 8.通貨 バルバドス・ドル(BD.\$)  
為替レート 1米ドル = 2.BD.\$ (固定相場制)  
補助通貨単位 100セント = CENT/S
- 9.査証(ビザ) 査証相互免除取極(1986年)
- 10.在留邦人数 7人(2006年9月現在)
- 11.在日当該国人数 61人(2006年現在)
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 1-246 国際通話コード 11
- 14.シガレット 小売価格 2.28 US\$ (20本当り)  
税率 64.4%  
製造数量 270 (百万本/年)  
シガレットメーカー

コンセント・タイプ

British American Tobacco Co. (Barbados) Ltd.	B.A.T.
Caribbean Cigar Co., Inc.	

## 15.略史

年月	略史
1627年	英国人が入植
1652年	英国直轄領
1951年	普通選挙制施行
1961年	英国自治領
1966年	独立

16.在外大使館・領事館 なし

## 17.駐日大使館・領事館

バルバドス大使館 (管轄、本国常駐)  
Embassy of Barbados to Japan  
Ministry of Foreign Affairs and Foreign Trade, 1 Culloden Road, St. Michel, Barbados  
Tel: 1-246-431-2200, 1-246-431-2204  
(注) 査証については駐日英国大使館が取り扱っています。

## 政治体制・内政

- 1.政体 立憲君主制
- 2.元首 英国女王エリザベス2世
- 3.議会 二院制(上院21名、下院30名)
- 4.政府 (1)首相名 オーウェン・アーサー  
(2)外相名 ヒリー・ミラー
- 5.内政

(1) 1991年1月の総選挙の結果、民主労働党(DLP)が勝利し、サンディフォード首相が再任されたが、経済不振のため、野党、経済界等より政府の経済政策への批判が強まり、さらに、1994年に入り、首相の経済運営、政治姿勢を不満とする閣僚のあいつく辞任等により、国会が解散され、総選挙が9月6日に実施された。その結果、野党バルバドス労働党(BLP)が下院28議席中19議席を獲得し、政権の座に振り返り、アーサー党首が首相に就任した。

好調な経済を背景に、1998年当初より早期選挙の憶測があったが、1999年1月、任期を約8ヶ月残し、総選挙が実施され、与党BLPが28議席中26議席を獲得し圧勝をおさめ、第二次アーサー政権が発足した。

(2) 2003年5月、前倒し総選挙の結果、バルバドス労働党(BLP)が30議席中23議席を獲得して圧勝、第3次アーサー政権が発足した。

## 外交・国防

### 1.外交基本方針

- (1) 米との関係を最優先。英国を中心に欧州諸国とも友好関係維持。
- (2) カリブ共同体(CARICOM)域内国との協調。
- (3) キューバ・中国・韓国・北朝鮮とも国交を有する。

### 2.軍勢力

- 1996年3月、東カリブ諸国機構(OECS)6ヵ国との間に地域安全保障システム設立。
- (1) 予算 未詳
  - (2) 兵役 未詳

(3)兵力 陸軍500人 海軍110人(ミリタリーバランス2001年/2002年)

## 経済(単位 米ドル)

- 1.主要産業 観光業、農業(砂糖)
- 2.名目GDP 2,992百万米ドル(2005年 IMF)
- 3.一人当たりGDP 10,849.94米ドル(2005年 IMF)
- 4.GDP成長率

2003年	2004年	2005年
1.90%	3.00%	4.20%

(IMF)

- 5.インフレ率(IMF・指数)(2000年=100)

2003年	2004年	2005年
107.3	107.9	112

- 6.失業率

2003年	2004年	2005年
10.80%	n.a.	n.a.

(IMF)

- 7.総貿易額

- (1)輸出 310百万ドル(2005年 IMF)
- (2)輸入 1,480百万ドル(2005年 IMF)

- 8.主要貿易品目

- (1)輸出 砂糖、蒸留酒、食料品、化学品、電気部品
- (2)輸入 機械、食料、建設資材、化学品

- 9.主要貿易相手国

- (1)輸出 バミューダ、トリニダード・トバゴ、英国
- (2)輸入 米国、トリニダード・トバゴ、英国、中国

- 10.通貨

バルバドス・ドル(BD.\$)

- 11.為替レート

1米ドル=2.BD.\$(固定相場制)

- 12.経済概況

1960、1970年代は観光、製造業の伸びを主因として、高い成長率を維持したが、1980年代に入り成長が鈍化し、1990年代に入ると、深刻な経済停滞を招いた。

これを受けて政府が民営化、公務員削減等の構造調整策を実施したことにより、1992年には失業率が20%を超えたものの、1993年以降は、観光、製造業の回復、建設業の伸びを主因として、2000年までプラス成長を維持した。

しかし、2001年のGDP成長率は米国同時多発テロ事件により観光業が打撃を受け、マイナスとなった。その後、政府により国内製造業、農業の保護及び観光、金融セクターの活性化などの政策が実施され、経済は回復傾向にある。

経済の現況は主に建設業及び製造業の成長が牽引する形で5年連続のプラス成長となる見込み。

## 経済協力

- 1.我が国の援助実績(累計)

- (1)有償資金協力(2005年度まで、交換公文ベース) 0.00
- (2)無償資金協力(2005年度まで、交換公文ベース) 0.00
- (3)技術協力実績(2005年度まで、JICAベース) 8.96億円

- 2.主要援助国(2004年)

- (1)米国 (2)日本 (3)英国 (4)カナダ (5)フランス

## 二国間関係

- 1.政治関係

1966年11月30日の独立と同時に、我が国はこれを承認。

1967年9月27日外交関係開設(我が方は在ベネズエラ大が兼轄)。

1980年2月より在トリニダード・トバゴ大が兼轄。我が国は在ブリッジタウン名誉総領事を任命している。

バルバドスは駐日大使館未設置であるが、1997年4月に名誉総領事任命に続き、駐日大使(ノンレジデント)としてローリー外務次官が任命され、同次官は1998年11月、信任状を奉呈した。

- 2.経済関係

- (1)対日貿易

- (イ)貿易額(JETRO統計)

対日輸出 0.3億円(2005年)

対日輸入 64億円(2005年)

- (ロ)主要品目

対日輸出 科学光学機器、蒸留酒

対日輸入 自動車、自動車部品、一般機械、タイヤ

- (2)我が国からの直接投資(許可・届出額)

2005年度までの累計 53億円(5件)

- 3.文化関係

1989年10月 日本舞踊公演(国際交流基金事業)

1990年 日本カレンダー展

1991年9月 邦楽公演

1993年11月 生花デモンストレーション

1996年11月 邦楽公演

1997年9月 江崎玲於奈筑波大学長による講演

- 4.在留邦人数

7人(2006年9月現在)

- 5.在日当該国人数

61人(2006年現在)

6.要人往来

(1)往(1989年以降)

年月	要人名
1989年	山下徳夫衆議院議員

(2)来(1971年以降)

年月	要人名
1971年	バロウ首相
1983年	セント・ジョン通産相
1985年	アダムス首相
1986年	ヘインズ蔵相
1988年	サンディフォード首相
1989年	サンディフォード首相
1990年5月	サンディフォード首相
1990年11月	グリーブス副首相(即位の礼)
1991年4月	サンディフォード首相
1993年11月	テイト外相(英連邦ミッション)
1994年9月	ゴッダード外務担当国務大臣(ITU京都会議)
1997年11月	トンプソン保健相(COP3京都会議)
1999年8月-9月	カミンズ・バルバドス博物館・歴史協会会長(文化人招聘)
2000年11月	ミラー副首相兼外務・外国貿易相(日・カリブ閣僚レベル会合)
2004年2月	ミラー外相兼貿易相(英連邦貿易担当大臣ミッション)
2005年4月	ミラー外相兼貿易相(IDB総会出席)
	パーカー財務省政務官(IDB総会出席)
2005年8月	シモンズ外交貿易担当国務大臣

7.二国間条約・取極

1986年 査証相互免除取極